

患者の皆様へ

2017年9月8日

血液内科

現在、血液内科では、「AL アミロイドーシスの治療成績に関する後方視的研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、2008年1月1日より2016年12月31日までにAL アミロイドーシスと診断された患者様の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「AL アミロイドーシスの治療成績に関する後方視的研究」

2. 研究の意義・目的 「AL アミロイドーシスは、異常な形質細胞が産生する異常タンパクが全身臓器に沈着し、臓器障害をきたす疾患です。治療目標は、異常な形質細胞を化学療法で抑制して臓器機能を温存することです。これまで、MD（メルファラン、デキサメサゾン）療法や大量メルファランを前処置とした自家末梢血幹細胞移植が行われてきましたが、十分な効果とは言い難く、より良い治療法が望まれています。近年、海外からボルテゾミブやレナリドミドといった新規治療薬による良好な成績が報告されていますが、日本における有効性は不明です。日本における各種治療の有効性、安全性が明らかになれば、より有効な治療の選択や計画に役立つことが期待されます。」

3. 研究の方法 千葉県内の血液内科にアンケート調査を行い、患者さんの数と行った治療、奏効率、生存率、再発率、有害事象について調査します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

参加施設にて調査票を記入後、研究代表施設（千葉大学医学部附属病院血液内科）に郵送する。

6. 研究組織

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院（代表者：堺田 恵美子）、千葉市立青葉病院（代表者：横田 朗）、成田赤十字病院（代表者：青墳 信之）、千葉県済生会習志野病院（代表者：趙 竜桓）、千葉県がんセンター（代表者：菅原 武明）、千葉ろうさい病院（代表者：原 暁）、船橋中央病院（代表者：深澤 元晴）、大網市立大網病院（代表者：杉田 泰雅）、国保旭中央病院（代表者：田中 宏明）、井上記念病院（代表者：松浦 康弘）、亀田総合病院（代表者：末永 孝生）

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院血液内科

本件のお問合せ先：医学部附属病院血液内科 医師 竹田 勇輔 043(222)7171 内線 5259

研究代表機関：千葉大学医学部附属病院血液内科 研究代表者：堺田 恵美子